

第22回 ジャパン インターナショナル シーフードショー
THE 22ND JAPAN INTERNATIONAL SEAFOOD & TECHNOLOGY EXPO

感染症対策の取り組み

2020年9月10日（木）

「シーフードショー」事務局

エグジビション テクノロジーズ（株）



感染症対策の取り組み

はじめに

本年の「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」は、日本政府（内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室）、東京都、江東区保健所の指針に則り、万全な感染症対策を実施し、安心・安全な開催の実現に努めて参ります。

東京都には、「全国的又は大規模イベント開催事前情報シート」を提出し、「感染防止徹底宣言ステッカー」も取得済みであり、会場入口等へ掲示します。本対策は、東京ビッグサイト、東京都へ事前報告をしておりますが、今後の感染状況に応じて、追加の対策を実施することもあります。

会期中は、運営事務局内で衛生管理対策班を組織し、東京都、東京ビッグサイトと連携を図りながら、会場内の巡回等を実施し、管理徹底に取り組みます。



感染症対策の取り組み

1. 「シーフードショー」が実施する感染症対策

1) 会場設定

- (1) 新たに導入する入場管理システム（全てのバッチにQRコードを表示）を活用し、東京ビッグサイトが定める収容制限人数（最大2,750人）に管理いたします。
- (2) 感染者が発生した場合の迅速な対応（通知）に備え、入場者全員の連絡先を予めデータ化します。厚生労働省による「コロナ接触確認アプリ（COCOA）」、東京都による「東京版新型コロナ見守りサービス」の入手を入場者全員へ周知し、感染者が発生した場合の迅速、的確な対応への体制を整えます。
 - ※ 端末不所持、またはアプリの入手困難な端末を所持している場合は、感染者発生時にメール等で連絡を実施します。
 - ※ 「東京版新型コロナ見守りサービス」は、都立施設のみでインストール出来るアプリです。東京ビッグサイトに到着後、インストールが可能です。
- (3) 会場は、3密対策に配慮したレイアウトを設定します。セミナー会場は、講演者と聴講者の2m以上、聴講者の座席間を1m以上に間隔を設定します。展示会場は、ブース間を2m以上に広げ、ソーシャルディスタンスを確保します。
- (4) 開催期間中は、空調設備による換気、会場内のドアを全て開放し、常時外気を取り入れることで、密閉空間とならないようにします。開催前と開催終了後には、シャッターを全て開放し、会場全体の換気を実施します。
- (5) 車輛搬入の場合を除き、会場への入場、退場は会場入口1箇所に限ります。搬入出口にはゲートを設け、管理を徹底します。



感染症対策の取り組み

2) 期間中の取り組み

- (1) 入場者全員を対象に、サーモグラフィー、及びスタッフによるハンディタイプの非接触型赤外線温度計で、二重で検温を実施します。
※ 37.5 度以上の熱を感知した場合は、パーテーションで仕切られた個別の専用待機室で待機いただく等によって 30 分間の待機時間を設け、再検温を実施します。37.5 度以上の熱を再感知した場合は、入場をお断りします。
- (2) 開催日の朝より、入場者全員を対象に、「健康チェックシート」の提出を義務付け、毎朝事務局スタッフが、健康状態をヒアリングしながら、回収いたします。
- (3) 入場者全員を対象に、会場内ではマスク、またはフェイスガードの着用を義務付けます。未所持の方には、事務局で販売、または近隣での購入を案内し、未着用での入場を禁止いたします。
- (4) 会場出入口、セミナー会場出入口、試食用共有キッチン出入口に、アルコール消毒液等を設置し、入場者全員に利用を促します。
- (5) 商談コーナーやインフォメーション等、人と人との対面する場所は、アクリル板やビニールシートの設置、ソーシャルディスタンスの確保を徹底し、飛沫感染防止対策に取り組みます。
- (6) 受付、セミナー会場入口、トイレ等の待機列が予想される場所には、床面に 1m 以上の間隔目印を貼付し、ソーシャルディスタンスの確保を徹底し、密集・密接状態を避けます。
- (7) 出入口周辺、ボタン、手すり等には、消毒作業を定期的（1 回／時間）に実施します。
- (8) 受付に「オゾン発生装置」、「除菌マット」を設置し、人体に影響のないマイナスイオンで完全に遮断し、衣服や靴底についたウィルスの侵入を防ぎます。



感染症対策の取り組み

2. 出展者の皆さまに実施いただく感染症対策

1) 開催前

- (1) 出展に係る全ての関係者（施工会社含む）のお名前・連絡先を、事前に登録（WEB登録）してください。万が一、感染者が発生した場合は、関係者のお名前。連絡先を、日本政府、及び、自治体へ情報を提供します。

2) 搬入・搬出

- (1) ブースを施工する場合は、作業に負担のかかるデザインを避け、施工時間の短縮と人員削減による安全な作業環境を確保いただくことを推奨します。また、施工中も作業員のマスク着用の徹底をお願いします。

3) 入館時

- (1) 検温を毎朝実施いただき、37.5度以上の熱がある、体調がすぐれない、感染症の疑いがある場合は、入場をお控えいただきます。該当者がいる場合には、運営事務局までご連絡ください。
- (2) 毎朝、入館前に「健康チェックシート」へ健康状態をご記入ください。事務局スタッフが、健康状態をヒアリングし、回収に伺います。
- (3) 会場内では、マスクまたはフェイスガードの常時着用をお願いします。
- (4) 入場時は、会場入口にあるアルコール消毒液等で、手指の消毒を行ってください。

4) 会場

- (1) 開催中も、付近の手洗設備にて、こまめな手洗いを実施してください。
- (2) ブース内で不特定多数の手が触れる箇所は、適宜、消毒作業を行ってください。
- (3) 商談の際は、密な状態とならないよう、配慮をお願いします。
- (4) 商談を実施した相手の連絡先、日時を控えていただき、開催3週間後までは、名簿の保管をお願いします。万が一、感染者が発生した場合は、名簿の提出にご協力いただく場合がございます。



感染症対策の取り組み

- (5) 厚生労働省が提供している「コロナ接触確認アプリ」(COCOA)、「東京版 新型コロナウイルス見守りサービス」を予めご登録ください。
 - (6) 会場内で呼び込みをする場合は、一定の距離を確保するか、スピーカー等の拡声器をご利用いただき、飛沫感染防止にご協力ください。
 - (7) 清掃・消毒作業は、手袋を必ず着用し、事後に手洗い・手指消毒を徹底してください。使用済みの手袋・マスクを廃棄する場合は、ビニール袋に入れて縛る等、密閉しての廃棄をお願いします。
- 5) 試食江東区保健所の指針を順守した試食提供
- (1) 調理をする場合は、必ず人通りが少ないブース内側のシンク周辺、または試食用共有キッチンのシンク周辺で調理されたものに限り、試食提供を許可します。また、調理スペースを出来る限りパーテーション等で囲い、周囲からの飛沫防止対策にも配慮をお願いします。
 - (2) 常温品は、1食ずつ個包装し、出来る限り外気に触れずに提供してください。
 - (3) 加熱調理品は、個包装の必要はありませんが、1食毎に皿を分けて提供してください。また、加熱後すぐに提供いただき、時間が経過したものは提供を不可とします。
- 例：
- 1食ずつ個包装 ： 刺身（生もの） / 寿司 / 缶詰
- 1食毎に皿を分けて提供： 揚げ物 / 干物 / 煮物 / スープ
- (4) 調理機器、調理器具は、使用時以外は外気に触れないよう保管いただき、また、調理者以外が触れないよう管理をお願いします。
 - (5) 試食提供による廃棄物は、こまめに回収します。
 - (6) 試食提供の際は、密な状態とならないよう、配慮をお願いします。
- 6) その他
- (1) 開催前後、開催中は、打ち上げ等の感染リスクが生じる行動は、避けてください。



感染症対策の取り組み

3. 来場者の皆さまに実施いただく感染症対策

- 1) 今回から新たに入場管理システム（QR コードを用いたバッチ）を導入しています。2020年9月25日（金）までに、必ず公式ホームページで事前登録を行っていただき、QR コードがついた入場証を印刷してご持参ください。印刷ができない場合は、会場入口での印刷も承ります。事前登録なく、会場へお越しいただいても、ご入場できませんこと、あらかじめご了承ください。
- 2) 来場前に検温を実施いただき、37.5 度以上の熱がある、体調がすぐれない、感染症の疑いがある場合は、入場をお控えください。
- 3) 入場前に「健康チェックシート」へ健康状態をご記入いただき、入口スタッフへお渡しください。
- 4) 会場内ではマスクまたはフェイスガードの常時着用をお願いします。
- 5) 入場時は、会場入口にあるアルコール消毒液で、手指の消毒を行ってください。
- 6) 厚生労働省が提供している「コロナ接触確認アプリ」（COCOA）、「東京版新型コロナウイルス見守りサービス」を予めご登録ください。
- 7) 開催終了後 14 日以内に、新型コロナウイルスの感染が判明した場合は、運営事務局までご連絡ください。



感染症対策の取り組み

4. セミナー主催者の皆さまに実施いただく感染症対策

- 1) 講演者、および関係者には、検温を毎朝実施いただき、37.5 度以上の熱がある、体調がすぐれない、感染症の疑いがある場合は、入場をお控えください。該当する場合は、運営事務局までご連絡いただき、講演予定者が講演を辞退する場合は、代理者による講演、または講演中止の何れかを検討し、聴講者への連絡を実施します。
- 2) 講演者、聴講者、関係者の全てを対象に、マスクまたはフェイスガードの常時着用をお願いします。
- 3) 入場時は、入口にあるアルコール消毒液で、手指の消毒を行ってください。
- 4) 講演者、関係者は、厚生労働省が提供している「コロナ接触確認アプリ」(COCOA)、「東京版新型コロナ見守りサービス」を予めご登録ください。
- 5) 運営事務局が実施する感染症対策に、ご理解ご協力をお願いします。
 - (1) 演台および司会台には、アクリルパネルを設置し、飛沫防止対策に取り組みます。
 - (2) 受付前の待機列が予想される場所には、床面に 1m 以上の間隔目印を貼付し、待機列に十分な間隔を設けることで、密集・密接状態を避けます。
 - (3) 講演者と聴講者の 2m 以上、聴講者の座席間を 1m 以上、間隔を設け、3 密対策に取り組みます。